



自宅学習をしっかりとできるようにしましょう！

学年末考査が終わり、一息ついているところでしょ
うか。後は色々な行事を終えて新学年へと進んでいく
だけになっています。

ところで皆さんは3月は出席する日数が13日しか
なく、そのうちきちんと授業が行われるのが10日しか
ないと言うことに気付いているのでしょうか。卒業式、
クラスマッチ、終業式という行事の際はもちろん授業
は行われず、その間に高校入試期間という1週間の自
宅学習期間が入ります。その結果“授業日10日”とい
う状況がおこるのです。



ここで重要になってくる
のが『自宅学習』です。も
ちろんそれぞれの教科から
宿題が出されるでしょうが、
それプラス『自分の勉強』
というものを考えてみてく
ださい。この1年の復習を
するのよし、苦手科目の

克服を考えて見るのよし、しっかりした目標を持っ
てこの期間を過ごすということが何よりも求められま
す。新3年生、新2年生としてスムーズなスタートを
切っていくためにもこの期間の学習についてしっかり
考えることを期待します。

『自分の勉強』というのは『自分の頭を使った』勉
強を意味しています。自分で「ああでもない、こうで
もない」と必死に考えて解答を導き出す学習を心がけ
ましょう。とにかく自分で自分なりの答えを出し、そ
れから模範解答を見たり教科書や辞書で調べたり等の
作業へと移る学習です。そういう過程が自分の学力と
して身に付いていくのです。最近『提出するための』
宿題、『先生に見せるための』予習をやって満足してい
るのではないかと感じるがよくあります。その結果自
分に力が付いていれば良いのですが、往々にしてそ
のような学習で力が付いた試しはありません。ネッ
トで検索して安易に得た情報がすぐに忘れ去られる
のと同じことです。

世の中が便利になりいろいろなことをネットから手
に入れられるようになっていきます。だからこそ、その
情報を使ってさらに先を見通す力が求められています。

入試期間と春休み、来年度を見越してしっかりと
した毎日を過ごしていきましょう。

大学入試センター試験について知ろう！

去る1月16日(土)・17日(日)に大学入試セン
ター試験(以下センター試験)が実施され、本校の3
年生も受験しました。試験後は問題・解答・配点など
を各予備校・マスコミが取り上げ、さらに今月初め
には各科目の平均点を大学入試センターが発表しまし
た。

このようにしてセンター試験は概況が明らかになり、
国公立大学の2次試験などへの足がかりになります。
大学や短大へ進学したい人にとっては避けては通れな
い関門の1つです。そこで、1・2年生のみなさんも、
センター試験のことをあらためて確認しましょう。今
は受験するつもりではない人も、今後の進路選択次第
で受験することがあり得ますので、自分のこととして
センター試験について知っておきましょう。

①いつ実施される？

毎年1回、1月13日以降の最初の土・日曜日に
実施されます。

②誰が受験する？

国公立大学への進学を希望する人全員と私立の大
学・短大を受験する人の多くが受験します。

③受験者数は？

ここ最近10年以上、50万人を上回っています。
センター試験を利用した入試を実施する私立大学が
増えてきているためであると考えられます。

④受験手続は？

9月上旬に配布される『受験案内』を入手します。
本校生は学校で取り寄せてもらえます。その中の志
願票や検定料の払込書などに必要事項を記入し、検
定料¥18,000を払い込みます。10月上旬から
中旬に必要書類を大学入試センターに提出します。

⑤解答の仕方は？

すべて選択式の問題で、解答方法はマークシート
の番号を塗りつぶす形式です。50万人以上もの受
験生の採点を短期間で行うためです。

⑥試験科目・試験時間・配点は？

本校生が受験するものは以下の通りです。

教科	科目	試験時間・配点
国語	「国語(現代文・ 古文・漢文)」	80分・200点
地歴	「世界史B」	60分・100点
	「日本史B」	60分・100点

公民	「倫理, 政治・経済」	60分・100点
数学	「数学Ⅰ・A」	60分・100点
	「数学Ⅱ・B」	60分・100点
理科	「化学基礎」 「生物基礎」	合わせて60分・ 100点
	「物理」	60分・100点
	「化学」	60分・100点
	「生物」	60分・100点
外国語	「英語筆記」	80分・200点
	「英語リスニング」	30分・50点

文系であれば国・「世日から1つ」・公・数ⅠA・数ⅡB・化基・生基・英筆・英リス, 理系であれば国・「世日から1つ」・数①・数②・化・「物生から1つ」・英筆・英リスの計950点分を解答します。

⑦平均点は？

全ての科目で平均点が満点の6割程度になるように作成されていると言われています。今年度のセンター試験の平均点は以下の通りでした。

科目	平均点
「国語」	129.39
「世界史B」	67.25
「日本史B」	65.55
「倫理, 政治・経済」	60.50
「数学Ⅰ・A」	55.27
「数学Ⅱ・B」	47.92
「化学基礎」	26.77
「生物基礎」	27.58
「物理」	61.70
「化学」	54.48
「生物」	63.62
「英語筆記」	112.43
「英語リスニング」	30.81

⑧対策はどうすればいい？

みなさんの教科担任の先生方がご指導して下さいます。さらに、本番で最高の力を発揮するためには、自分の弱点を自分で発見して克服する姿勢と行動力が必要です。右に各科目の攻略のポイントを示します。参考にしてください。



「国語」	普段からさまざまな文章を読む。基礎知識の確実な習得。テーマ・表現・論理展開を確認する習慣を。
「世界史B」	苦手な時代や分野を克服。用語は他の出来事との関連(前後や同時代の事象)を理解する。
「日本史B」	出来事を断片的にではなく、因果や変化を含めて理解する。戦後史が大切。史資料・地図を理解も。
「倫理・政治・経済」	基本用語の理解と、関連事項の確認を。思考力を要する問題の演習を積み重ね、考える習慣をつける。
「数学ⅠA」	基本の理解を徹底し、苦手をなくす。グラフの読み取りや、公式の正確な理解と運用力を付ける。
「数学ⅡB」	苦手をなくす。計算の工夫や解法の効率化を練習する。複数の解法を身につける。
「化学基礎」	基本事項の理解。グラフや表の読み取りになれ、日常の現象への関心を高める。徹底した問題演習。
「生物基礎」	正確な知識の習得。問題・選択肢・図・グラフを丁寧に読み取る練習を。苦手な分野を作らない。
「物理」	苦手分野を克服する。物理基礎の範囲も確実に習得し、問題演習を重ねる。
「化学」	教科書の基本事項を漏れなく。正確な計算力を。実験に必要な思考力を付け、身近な物質への関心も。
「生物」	正確な知識を全ての分野で。苦手を作らない。実験考察問題になれ、時間配分を意識した演習を。
「英語筆記」	ジャンルや目的に応じた読み方を徹底練習。英文全体の構成・主張を考える習慣をつける。
「英語リスニング」	日常会話、討論、説明等場面に応じた聞き取り方と、英語の音から正確に理解する練習を。

(『2016年度大学入試センター試験【本試験速報】(進研模試編集部)をもとに作成)